

令和元年度 大阪府流域下水道事業会計 決算の概要

事業概要・トピックス

- ・平成30年度より地方公営企業法を適用。
- ・業務量・・・総流入水量678,141千m3、日平均流入水量1,853千m3
7流域12処理区(処理場14箇所、ポンプ場32箇所、管渠延長約568km)

・平成30年度決算と同じく、減価償却費に対する営業収益が不足していることから令和元年度においても経常損失を計上。

損益の状況 ※消費税及び地方消費税を除く

	金額	内容
収益	614億1,167万円	維持管理負担金、一般会計繰入金、長期前受金戻入等
費用	628億 467万円	管渠・ポンプ場・処理場費、減価償却費等
経常損失	13億9,300万円	H30決算:28億6,457万円

減価償却費負担額

減価償却費	370億7,569万円
資産減耗費	3億4,648万円
長期前受金戻入	▲299億7,916万円
支払利息等	15億7,985万円
計	90億2,286万円
負担額(私費3割)	27億 686万円
※H30	28億1,868万円

財務諸表

I. 損益計算書

営業費用 610億7,660万円	管渠・ポンプ場・処理場費 226億9,348万円	負担金及び受託金 218億3,731万円	営業収益 218億3,731万円
	減価償却費 370億7,569万円	他会計補助金 88億7,408万円	営業外収益 395億7,436万円
	その他 13億743万円	長期前受金戻入 299億7,916万円	
	支払利息等 15億7,985万円	その他 7億2,112万円	
営業外費用 17億2,807万円	その他 1億4,822万円		経常損失 13億9,300万円

II. 貸借対照表

固定資産 1兆627万円7,301万円	固定負債 1,607億7,900万円 (うち企業債 1,538億9,256万円)
	流動負債 311億7,140万円
	繰延収益 6,254億4,366万円
	資本金等 2,617億9,713万円
その他 164億1,818万円	

経常損失の内訳

①減価償却費に対する収益不足額	【▲27.1億円】
②維持管理負担金における精算返納金がR2返納のため、収益として計上	【7.8億円】
③他会計補助金の不用額がR2返納のため、収益として計上	【2.7億円】
④売電事業収入のうち、パネルリース料(4条支出分)が収益として計上	【3.1億円】
⑤その他支出等	【▲0.4億円】
経常損失	13.9億円

III. キャッシュフロー計算書

1 業務活動によるキャッシュ・フロー	
当年度純損失	▲13億9,300万円
減価償却費	370億7,569万円
資産減耗費	3億4,648万円
長期前受金戻入	▲299億7,916万円
各種引当金の増減額	1,904万円
受取利息及び配当金	▲196万円
支払利息及び企業債取扱諸費	15億7,985万円
未収金の増減額	▲10億180万円
未払金の増減額	▲6億6,964万円
その他	1,753万円
小計	59億9,303万円
利息等の支払額	▲23億1,755万円
業務活動によるキャッシュ・フロー	36億7,548万円

2 投資活動によるキャッシュ・フロー	
有形固定資産の取得による支出	▲159億4,694万円
無形固定資産の取得による支出	▲7,948万円
国庫補助金等による収入	129億6,232万円
流域下水道事業減価基金組入による支出	▲62億1,856万円
流域下水道事業減価基金繰入による収入	35億9,093万円
その他	▲2,674万円
投資活動によるキャッシュ・フロー	▲57億1,847万円

3 財務活動によるキャッシュ・フロー	
建設改良費等の財源に充てるための企業債による収入	109億6,600万円
建設改良費等の財源に充てるための企業債の償還による支出	▲154億5,167万円
一般会計からの出資による収入	69億7,734万円
リース債務の返済による支出	▲3億1,375万円
財務活動によるキャッシュ・フロー	21億7,792万円

資金増減額	1億3,493万円
-------	-----------

資本的収支の状況 ※消費税及び地方消費税を含む

	金額	内容
収入	328億4,582万円	国庫補助金、建設負担金、企業債等
支出	393億4,941万円	流域下水道建設事業費、企業債償還金等
収支差	64億5,909万円	(不足額は、損益勘定留保資金等で補てん)

建設改良費 176億2,466万円	企業債 109億6,300万円	うち翌年度繰越額 9億4,400万円
	出資金 69億7,734万円	うち翌年度繰越額 1,019万円
企業債償還金 154億5,167万円	国庫補助金 91億1,708万円	うち翌年度繰越額 10億6,974万円
	負担金 35億940万円	
	受託金 7億1,200万円	
	基金繰入金 35億9,093万円	
基金組入金 62億1,856万円		
国庫返納金 478万円		
建設負担金返還金 524万円		

→資本的収支 不足額
64億5,909万円
(翌年度繰越額を除く)

企業債残高

	H30	R1	備考
企業債残高	1,769億836万円	1,724億2,270万円	

前年度決算との比較 (主なもの)

項目	H30	R1	前年比	要因
管渠・ポンプ場・処理場費	228.3億	226.9億	99.4%	精算返納金の減及び修繕費等の増
支払利息等	19.3億	15.8億	81.9%	企業債償還金の減によるもの
維持管理負担金・受託金	204.3億	218.4億	106.9%	動力費等の計上期間の見直し(11ヵ月⇒12ヵ月)
他会計補助金	93.5億	88.7億	94.9%	支払い利息の減額によるもの
自主財源事業収入(売電事業を含む)	6.2億	6.7億	108.1%	施設使用料収入の増
経常損失	28.6億	13.9億	48.6%	負担金等収入の増及び企業債償還の減に伴う支払い利息や他会計補助金の減によるもの
建設改良費	146.3億	176.2億	120.4%	経営戦略を踏まえた事業計画によるもの
企業債償還金	207.2億	154.5億	74.6%	満期償還分(市場公募債)の減
他会計出資金	56.4億	69.8億	123.8%	H30は固定資産売却収入により減少